

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】令和3年4月30日(2021.4.30)

【公開番号】特開2021-2813(P2021-2813A)  
 【公開日】令和3年1月7日(2021.1.7)  
 【年通号数】公開・登録公報2021-001  
 【出願番号】特願2019-116785(P2019-116785)  
 【国際特許分類】

H 0 4 N 19/103 (2014.01)  
 H 0 4 N 19/593 (2014.01)  
 H 0 4 N 19/96 (2014.01)  
 H 0 4 N 19/186 (2014.01)  
 H 0 4 N 19/136 (2014.01)

【F I】

H 0 4 N 19/103  
 H 0 4 N 19/593  
 H 0 4 N 19/96  
 H 0 4 N 19/186  
 H 0 4 N 19/136

【手続補正書】

【提出日】令和3年2月19日(2021.2.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

符号化データを復号するように構成されている画像復号装置であって、  
 前記符号化データを復号して、輝度ブロック分割情報及び色差ブロック分割情報を取得するように構成されているブロック構造復号部と、

前記輝度ブロック分割情報及び前記色差ブロック分割情報に基づいて、成分間線形予測方式を適用することができるか否かについて判定するように構成されている判定部と、

前記判定結果に応じて、色差イントラ予測方式を復号するように構成されている色差イントラ予測方式復号部とを備え、

前記判定部は、

輝度成分における分割パターンと色差成分における分割パターンとが一致している場合に、前記成分間線形予測方式を適用することができると判定するように構成されており

前記輝度成分における分割パターンと前記色差成分における分割パターンとが一致していない場合に、前記成分間線形予測方式を適用することができないと判定するように構成されていることを特徴とする画像復号装置。

【請求項2】

前記ブロック構造復号部は、前記符号化データを復号して、前記輝度ブロック分割情報と前記色差ブロック分割情報とブロックサイズとを取得するように構成されており、

前記判定部は、前記ブロックサイズが予め定めた閾値よりも大きい場合に、前記成分間線形予測方式を適用することができないと判定するように構成されていることを特徴とする請求項1に記載の画像復号装置。

## 【請求項 3】

前記判定部は、前記ブロックサイズが前記閾値以下である場合に、予め定めたブロックサイズにおける判定結果を用いるように構成されていることを特徴とする請求項 2 に記載の画像復号装置。

## 【請求項 4】

符号化データを復号する画像復号方法であって、

前記符号化データを復号して、輝度ブロック分割情報及び色差ブロック分割情報を取得する工程 A と、

前記輝度ブロック分割情報及び前記色差ブロック分割情報に基づいて、成分間線形予測方式を適用することができるか否かについて判定する工程 B と、

前記判定結果に応じて、色差イントラ予測方式を復号する工程 C とを備え、

前記工程 C において、

輝度成分における分割パターンと色差成分における分割パターンとが一致している場合に、前記成分間線形予測方式を適用することができると判定し、

前記輝度成分における分割パターンと前記色差成分における分割パターンとが一致していない場合に、前記成分間線形予測方式を適用することができないと判定することを特徴とする画像復号方法。

## 【請求項 5】

コンピュータを、符号化データを復号するように構成されている画像復号装置として機能させるプログラムであって、

前記画像復号装置は、

前記符号化データを復号して、輝度ブロック分割情報及び色差ブロック分割情報を取得するように構成されているブロック構造復号部と、

前記輝度ブロック分割情報及び前記色差ブロック分割情報に基づいて、成分間線形予測方式を適用することができるか否かについて判定するように構成されている判定部と、

前記判定結果に応じて、色差イントラ予測方式を復号するように構成されている色差イントラ予測方式復号部とを備え、

前記判定部は、

輝度成分における分割パターンと色差成分における分割パターンとが一致している場合に、前記成分間線形予測方式を適用することができると判定するように構成されており

前記輝度成分における分割パターンと前記色差成分における分割パターンとが一致していない場合に、前記成分間線形予測方式を適用することができないと判定するように構成されていることを特徴とするプログラム。